

第3章 「美し国おこし・三重」の取組状況

～多様な主体が参画し、地域づくりの実践・展開を支援するしくみ～

1 「美し国おこし・三重」全体概要

「美し国おこし・三重」は、住む人も訪れる人も幸福を実感できる元気な三重の実現をめざす取組です。地域のさまざまな主体が、地域の特色ある自然や歴史・文化などを活用して自発的に取り組む地域づくりを基本に、平成 21（2009）年から平成 26（2014）年までの6年間にわたって多彩な催しを展開することにより、地域の魅力や価値を向上させ、発信するとともに、集客交流の拡大を図り、自立・持続可能で元気な地域づくりへとつなげていく取組です。

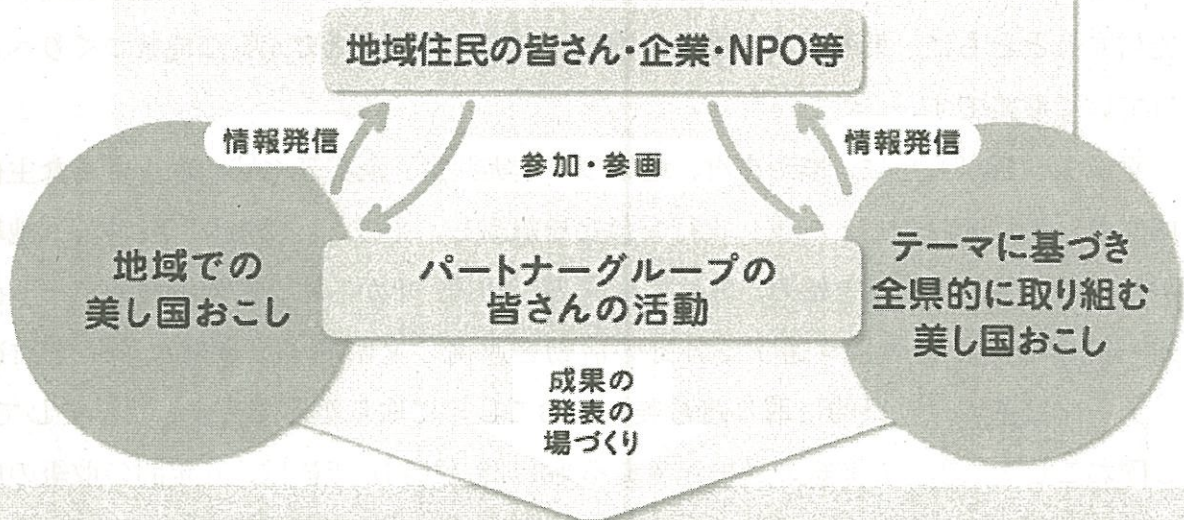
平成 20（2008）年に、県や市町、地域づくり実践者、企業等地域のさまざまな主体で構成する「美し国おこし・三重」実行委員会を組織し、平成 21（2009）年には、「地域での美し国おこし」の取組を始め、併せて平成 22（2010）年からは、県内各地のパートナーグループの活動の中から共通する分野の活動を連携し全県的・広域的な取組を推進する「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」に取り組んできました。そして、「美し国おこし・三重」の取組の最終年である平成 26（2014）年には、6年間の取組の成果を県内外にアピールし、地域をよりよくしていこうとする三重の県民力を新たな時代に向かって拡大する県民力拡大プロジェクトを、その前年の平成 25（2013）年には、プレイベントを実施することとしています。

平成 24（2012）年度は、この取組の基本となる、地域の課題やビジョンを話し合う座談会を 715 回、取組の開始以降 2,527 回開催し、座談会をとおして地域をよりよくしていこうとする住民の皆さんにパートナーグループとして前年度比約 2.2 倍の 175 グループ、平成 24（2012）年度末で 513 グループに登録いただきました。また、拡大座談会を 27 か所で開催、マネジメント研修や専門家派遣、財政的支援を行うなど、「地域での美し国おこし」の取組を進めました。

併せて、「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」において、「人と地域の絆づくり」を理念に、「地域の誇り・地域の夢」をテーマとして、歴史・文化をとおして人々と地域のつながりを深め地域の誇りを見つめ直し豊かな地域社会づくりをめざすプロジェクト（物語おこしプロジェクト）と、「人と人の絆づくり」を理念に、「つむぐ想い・つながる心」をテーマとして、絆づくりの場や機会をつくることで、一人ひとりが絆を紡ぎあげ、誰もがお互いに支えあい、助け合える環境づくりをめざすプロジェクト（人と人の絆の場づくりプロジェクトなど）を展開しました。

「美し国おこし・三重」オープニング
〔平成21(2009)年〕

「美し国おこし・三重」リニューアルスタート
〔平成24(2012)年〕



県民力拡大プロジェクト

「美し国おこし・三重」の最終年である平成26(2014)年には、「美し国おこし・三重」の6年間の取組の成果を県内外にアピールし、地域をよりよくしていこうとする三重の県民力を新たな時代に向かって拡大する県民力拡大プロジェクトを実施します。具体的には、次の3つの取組を展開していきます。

縁博みえ2014

期間：平成26(2014)年4月～11月
場所：県内各地

- パートナーグループの活動場所における成果の披露を基本とし、パートナーグループをはじめとするさまざまな主体による集客・交流イベントを「縁博イベント」として全県的に展開します。

三重県民大縁会

期間：平成26(2014)年11月22・23日
場所：三重県庁サンアリーナ(伊勢市)

- 「美し国おこし・三重」の締めくくりとして、パートナーグループの皆さんが一堂に会し、6年間の取組の成果発表や、今後の展望について語り合うなど、県民の皆さんの交流・連携につながる場とします。

第32回地域づくり団体全国研修交流会三重大会

期間：平成26(2014)年11月7～9日
場所：〔全大会〕三重県総合文化センター
〔分科会〕県内各地

- 全国の地域づくり団体関係者等との交流を通じてこれからの地域づくりを考える機会にするとともに、パートナーグループなどの活動の成果を県内外へ発信する場とします。

2 「地域での美し国おこし」(地域づくりの担い手の育成と支援)の取組状況

(1) 目的(狙い)

県や市町をはじめさまざまな主体で構成する実行委員会において、地域をよりよくしていこうとする住民の皆さんの活動に対して、プロデューサーの助言や専門家派遣、ネットワーク化の支援、財政的支援などを行うことにより、平成26(2014)年の取組終了後の自立・持続可能で元気な地域づくりにつなげます。

(2) 内容

地域をよりよくしていこうとする住民の皆さんをサポートするため、座談会の開催やパートナーグループ登録を進め、プロデューサーの助言や人材育成研修、専門家派遣、広報・誘客支援、ネットワーク化支援、財政的支援を行いました。

①「座談会」等の開催

「地域づくりに取り組んでいる」または「これから始めようとする」住民の皆さんを対象に、地域の課題やビジョンを話し合う場である座談会、説明会等を市町と調整の上、平成24(2012)年度は715回、取組の開始以降2,527回開催しました。

○座談会開催目標 330回



(色と香りのセラピー座談会)



(尾鷲地域拡大座談会)

②パートナーグループの登録

「美し国おこし・三重」の取組の趣旨に沿って、自発的に地域をよりよくしていこうとする活動を行うパートナーグループに、平成24(2012)年度は175グループが登録し、平成24(2012)年度末で513グループの登録となりました。

○パートナーグループ登録目標 200グループ

③拡大座談会の開催

市町単位や実行委員会事務局地域事務所単位など、地域や活動分野を越えた連携・交流のきっかけづくりや「美し国おこし・三重」の取組をアピールするための拡大座談会を、27回開催し、延べ1,788人に参加いただきました。

	名 称	実施日	場 所	参加者数
1	「美し国おこし・三重」くわな手作り大縁会 ～みんなで作るしあわせネットワーク～(桑員地域拡大座談会)	平成24(2012)年 6月2日(土)	くわなメディアライブ	350
2	「美し国おこし・三重」熊野市拡大座談会 ～木本「まちあるき」とふりかえり座談会～	6月3日(日)	紀南ツアーデザインセンター他	50
3	エコイベントを考える交流会 (「美し国おこし・三重」四日市地域拡大座談会)	7月21日(土)	三重県鈴鹿山麓研究学園都市センター	25
4	「ぼうさい☆くまの」拡大座談会	7月27日(金)	三重県熊野庁舎	18
5	「美し国おこし・三重」第2回桑員地域拡大座談会 人と人の絆づくり～親子の「ほのぼののブレイク」～	8月26日(日)	ながしま遊館	67
6	「美し国おこし・三重」四日市地域絆づくり大縁会	9月22日(土・祝)	天然温泉 ユーユー・カイカン	73
7	第2回「食」と「農」でつながる拡大座談会 (鈴鹿地域拡大座談会)	10月2日(火)	「鈴峰の里」及び Sakura-café	29
8	プチ女子会in外宮・せんぐう館 (伊勢地域拡大座談会)	10月3日(水)	伊勢菊一	12
9	「美し国おこし・三重」拡大座談会 「浦々のかあちゃん大集合」(尾鷲地域拡大座談会)	10月16日(火)	三重県立熊野古道センター	13
10	「美し国おこし・三重」伊勢地域拡大座談会 ～丹敷戸畔の謎解明プロジェクト ぶらっといこかあ～	10月28日(日)	紀勢老人福祉センター	25
11	「美し国おこし・三重」伊賀地域拡大座談会 ～皆さんの活動について私たちに色々教えてください～	11月19日(月)	ゆめぼりすセンター	24
12	「美し国おこし・三重」第3回桑員地域拡大座談会 人と人の絆づくり～参加・体験・交流～	12月8日(土)	くわなメディアライブ	360
13	助成金の申請&活用勉強会・交流会 「なるほど!助成金申請書はこう書けばよかったんかあ～!!」(伊勢地域拡大座談会)	12月16日(日)	三重県伊勢庁舎	10
14	第2回「歴史×文化×物語」拡大座談会 東海道「庄野宿」まちなみ探検プロジェクト(鈴鹿地域拡大座談会)	平成25(2013)年 1月14日(月・祝)	庄野公民館	47
15	「美しCafé 新年会」 ～障がいを持つ子どもの教育を考える～(四日市地域拡大座談会)	1月16日(水)	四日市市 なやプラザ	24
16	「美し国おこし・三重」津地域第1回拡大座談会 ～みんなで考えよう まちづくり～	1月20日(日)	津市美杉総合開発センター	101
17	「美し国おこし・三重」伊勢地域拡大座談会 ～倭姫命の巡行地と一之瀬城址散策～	1月27日(日)	一之瀬公民館	35
18	「美し国おこし・三重」川越町拡大座談会 「happy share party2」	2月13日(水)	川越町総合センター	30
19	「美し国おこし・三重」東大和西三重地域広域プロジェクト拡大座談会	2月21日(木)	名張産業振興センター アスピア	50
20	「美し国おこし・三重」拡大座談会 引本ひもときまちあるき ～遊覧船体験と引本まちあるき～(尾鷲地域拡大座談会)	2月24日(日)	紀北町引本公民館	56
21	熊野地域拡大座談会 ～まちなか案内人と行く!再発見の「木本まちあるき」～	3月3日(日)	紀南ツアーデザインセンター	20
22	「美し国おこし・三重」松阪・伊勢・尾鷲地域拡大座談会 Vol.2プチ女子会inおわせ～浦々のかあちゃん集まれ～	3月7日(木)	三重県立熊野古道センター	45
23	このゆびとまれ!わくわくフェスタ「美し国おこし・三重」第4回桑員地域拡大座談会	3月17日(日)	東員町保健福祉センター	64
24	「美し国おこし・三重」津地域 第2回拡大座談会『自立していくための事業モデル ～想いを形にするために～』	3月20日(水・祝)	三重県津庁舎	30
25	「美し国おこし・三重」伊勢地域拡大座談会 「第3回いせ市民活動フェスティバル」	3月23日(土)	いせ市民活動センター	150
26	熊野地域拡大座談会『地域の人がつながり、支えあうために』 ～紀伊半島大水害を忘れない!体験から学ぶ市民活動の役割～	3月24日(日)	御浜町役場	50
27	「美し国おこし・三重」伊勢地域拡大座談会 平成24年度鳥羽市市民活動交流会 みんなわいわい!何か楽しいこと始めませんか?	3月24日(日)	鳥羽商工会議所	30



(第2回「歴史×文化×物語」拡大座談会)



(「美し国おこし・三重」津地域第1回拡大座談会)

④サポートメニュー

ア 人材育成研修

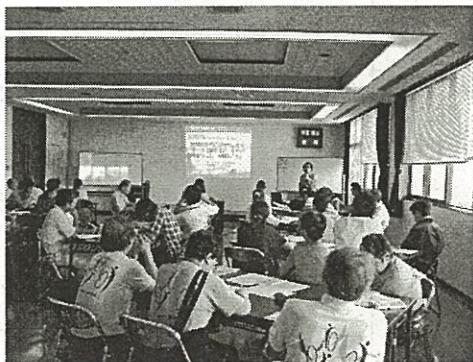
パートナーグループや中間支援組織の皆さん、県・市町職員等を対象として、次のとおり研修を実施しました。

- ・ マネジメント研修 3会場 (各1日)

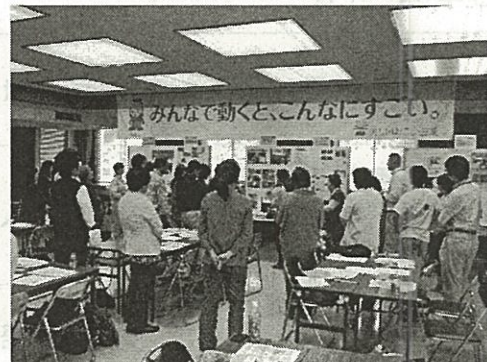
【マネジメント研修】

「グループを安定的に運営したい」、「活動資金を安定的に確保したい」、「ステップアップにつながる投資資金を調達したい」という皆さんを対象に、鈴鹿、尾鷲、伊賀の3会場で研修を実施し、合計96人の参加をいただきました。

主な内容	鈴鹿会場 県鈴鹿庁舎	尾鷲会場 県尾鷲庁舎	伊賀会場 県伊賀庁舎
「地域のために好きなことをずーっと続けていくための資金のこと、組織のこと」 ・ 資金調達で困っていること ・ お金の出し手は何を期待するか？ ・ グループワーク、DVD鑑賞 ほか	9月12日(水) (13時~17時) 受講者実績 : 42人	10月10日(水) (13時~17時) 受講者実績 : 26人	10月31日(水) (13時~17時) 受講者実績 : 28人



(鈴鹿会場)



(尾鷲会場)

イ 専門家派遣

パートナーグループの活動を活性化し、課題の解決を支援するため、パートナーグループの要請に基づき、プロデューサーと協議の上、専門家派遣を行っています。平成24(2012)年度は25件(65回(日))派遣しました。

	派遣日	派遣を受けた パートナーグループ名	アドバイス内容
1	平成24年4月1日	田丸嬢	曲に合わせた振付けと情報発信
2	平成24年4月13日・5月31日・7月24日	NPO法人 天満浦百人会	地元食材を使用したレシピの習得
3	平成24年4月21日・8月10日	海っ子の森サークル	効果的なチラシの作成・指導
4	平成24年4月27日・5月19日・7月8日・9月22日・10月26日	金王道ふれあい探訪ウォーキング	ウォーキングマップ作成支援
5	平成24年5月10日・31日・6月15日・27日・7月19日	ごたーげさん	マーケティング・商品デザイン開発
6	平成24年7月27日	度会町の植物を守る会	樹木に関する知識の習得
7	平成24年7月28日・9月8日・22日	特定非営利活動法人 ユニバーサルデザイン同夢	映像構成の考え方や撮影方法等
8	平成24年8月29日	玉城演劇愛好会	子供たちへの演劇指導
9	平成24年9月19日	浦谷川ホタル自然育成の会	ホタル保護活動の指導アドバイス
10	平成24年9月24日・10月2日・11月9日・12月19日・平成25年1月21日	関船衆	引本ひもときマップ作成支援
11	平成24年9月27日・平成25年3月31日	鳥羽まちなみ水族館	効果的なチラシの作成・指導
12	平成24年10月2日	Sweet Potake	多品種の野菜栽培の技術的な指導
13	平成24年10月11日・11月26日・12月10日・平成25年1月30日・3月18日	NPO法人 a trio	HPの更新方法・ちらし作成手順の習得
14	平成24年10月15日・31日	菰野民話語りの会	菰野方言による民話の再現

15	平成 24 年 10 月 30 日	『傾聴同好会』	ボランティアの確保と遠隔傾聴の実施
16	平成 24 年 11 月 5 日・ 22 日・12 月 27 日	ふらり人。、週末屯田兵	写真の撮影方法や見せ方
17	平成 24 年 11 月 7 日・ 12 月 27 日・平成 25 年 2 月 20 日	こどものおやつ農園	広報資料の制作の作成手順
18	平成 24 年 11 月 22 日	くわな P C ネット	P C サポートの改善方法やノウハウの 習得
19	平成 24 年 11 月 20 日・ 12 月 18 日・平成 25 年 1 月 15 日・2 月 19 日・ 23 日・3 月 19 日	まじっくぼっくす	読み聞かせの構成と話術、音読の技術 に関する指導
20	平成 24 年 12 月 4 日・ 20 日・平成 25 年 1 月 17 日	本と人の交流館一陽だまり文庫	子供たちにも分かる冊子の作り方
21	平成 24 年 12 月 17 日・ 平成 25 年 1 月 9 日・30 日	神戸地区住民自治協議会産業 部会	ロゴマークやユニフォームの制作・作 成手順
22	平成 24 年 12 月 25 日・ 平成 25 年 1 月 31 日	特定非営利活動法人 和嬉会 愛	ガーデンの設計・植物の選定やアドバ イス
23	平成 25 年 1 月 26 日	飯 N e !!	コーチング・ケアリングの講義と指導
24	平成 25 年 1 月 28 日・ 2 月 15 日・3 月 11 日	N P O ユメビトハウス	建築に関する法律や消防法等、建物の 法令に関する指導
25	平成 25 年 3 月 9 日	多気町まちづくり仕掛人塾	新しい視点による地域づくりの考え方 を学ぶ



(専門家派遣：NPO法人 天満浦百人会)



(専門家派遣：浦谷川ホテル自然育成の会)

ウ 広報・誘客支援

「4 情報発信の取組状況」で説明

エ ネットワーク化支援

【拡大座談会】

「③ 拡大座談会の開催」で説明

【成果発表・交流会】

すべてのパートナーグループ及び地域を愛する人々を対象に参加を呼びかけ、テーマプロジェクトの取組や各グループの活動の成果を発表するとともに、県民力拡大プロジェクトに向けて、地域づくりの成功事例を学ぶ・体験する場を作ります。また、パートナーグループ以外で、地域おこしを実践している、または、これから実践しようとする皆さんにもご参加いただき、交流を深めます。

県内全域にわたってパートナーグループ間相互の連携を促進するとともに、本取組の県内外に向けた情報発信の機会とします。

	名 称	実施日	場 所	参加者数
1	平成 24 年度成果発表・交流会 ワクワク！うまし発見フェスタ～みえの地域づくり大集合～	平成 25(2013)年 3月2日(土)	津市 メッセウイング・みえ	約 3,700 人

〈開催概要〉

- ・ブース出展 (69 団体)
- ・講演：「阿蘇のゆるっと博を通じた地域づくりと滞在交流型観光」
講師：坂元英俊
- ・パートナーグループによる活動発表 (8 グループ)
- ・「美し国おこし・三重」フォトコンテスト表彰式、浅田政志さん撮影会
- ・協創ダイジェスト (8 グループ)
- ・つながりワークショップ
講師：特定非営利活動法人愛ママズ IT 倶楽部
- ・宮川フォーラム 2013
- ・中山間地域活性化シンポジウム



(活動発表：あずま太鼓)



(パートナーグループ・出展者交流会)

【「美し国おこし・三重」サポーターズクラブ】

「美し国おこし・三重」の取組の趣旨に賛同し、取組のPRや実際の活動を応援していただける県内外の個人、団体、企業を対象に、「美し国おこし・三重」サポーターズクラブへの参加を呼びかけており、平成24(2012)年度はグループ・団体34件、個人26人の登録をいただき、開設以降総計でグループ・団体103件、個人176人となりました。

オ 財政的支援

プロジェクトを企画し、認定を受けたパートナーグループに対し、市町の考え方に沿って、活動の自立・持続のために必要な初期投資の経費を、1回に限り市町と共に支援しています。平成24(2012)年度は5件の支援を行いました。

(単位:円)

	事業名	パートナーグループ名	市町名	実行委員会補助額	市町負担額
1	古里のみかんでみんなの元気をつくるプロジェクト	花蜜柑	紀北町	180,000	120,000

<事業概要>

調理設備を整備することで、廃棄されている橙を活用した「橙ポン酢」を安定した商品生産・販売へつなげていきます。また、地域資源を活用した新商品の開発もあわせて行い、老若男女が一緒になって活動することで、地域を元気にし、自立した活動につなげていきます。

2	熊野街道ひなめぐり	熊野街道ひなめぐり実行委員会	熊野市	346,950	231,300
---	-----------	----------------	-----	---------	---------

<事業概要>

のぼり旗や顔出しパネルを購入し、参加加盟店やイベント会場等に設置することにより、イベントの周知や新たな会場案内方法を展開するとともに、個々に存在していた観光地、商店、景観など街全体の一体感を生み出します。また地域外からの観光客を呼び込み、住民との交流を進めることで、地域の魅力の再発見や愛着・誇りの再生につなげ、街中に賑わいを取り戻し、集客や地域活性化につなげていきます。

	事業名	パートナーグループ名	市町名	実行委員会補助額 (市町負担分含む)	左欄のうち市町負担額
3	ひろば「にじっこ」における地域の子育て体験・交流推進プロジェクト	特定非営利活動法人くわな子どもネット	桑名市	500,000	250,000

<事業概要>

電気炉等を購入し、子育て中の母親を中心とした市民講師によるものづくり・食・運動などの体験教室を新たに展開します。広く参加者を募り、さまざまな世代との交流を図ることで、子育ての悩みや考えを共有し合い、地域全体で問題に取り組む意識を高め、地域社会へ貢献していきます。

	事業名	市町実行委員会名	市町名	実行委員会補助額	市町負担額
4	いなべ市Eポート交流大会	いなべ市Eポート交流大会実行委員会	いなべ市	2,500,000	2,814,890

<事業概要>

平成 24 (2012) 年度から正式開催となった「いなべ市Eポート交流大会」に必要なEポートやパドル等を購入し、大会規模を拡大することで、いなべ市の魅力を市内外へPRするとともに、合併後の各町の枠を越えた住民の交流や、参加する企業、各世代の交流を図ることで、一体感を醸成し今後のまちづくりにつなげていきます。

5	東大和西三重地域広域プロジェクト	東大和西三重地域広域プロジェクト実行委員会	名張市 伊賀市 津市	500,000	500,000
---	------------------	-----------------------	------------------	---------	---------

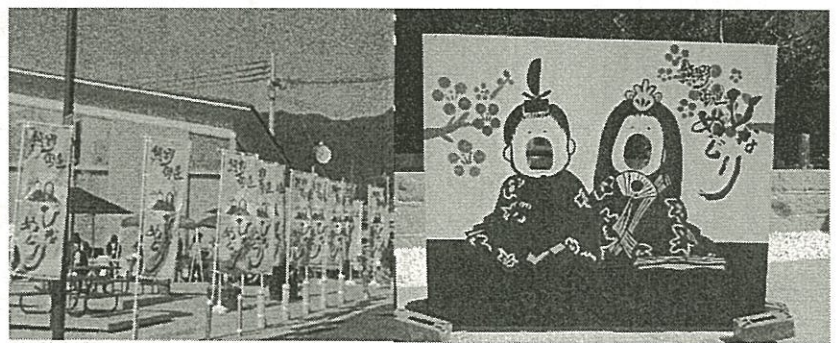
<事業概要>

街道に存在する歴史的遺産や街道にまつわる逸話、魅力を集約した、街道マップ作成に必要な資料収集や調査を行います。また平成 25 (2013) 年度以降に、街道マップを作成し、街道の魅力を情報発信するキャンペーンを行います。これらを通じて、初瀬街道・伊勢本街道への地域外の交流人口を増やすとともに、地域の一体感を醸成し、地域を活性化していきます。

- ※ 1、2 の事業実施地域は、過疎地域等に該当しますので、実行委員会の負担割合が大きくなっています。
- ※ 3 の市においては、負担金方式を採用しているため、実行委員会が市の支援金と合わせて、パートナーグループに直接補助します。
- ※ 4、5 は、市町とパートナーグループ等により構成される市町実行委員会などが実施する事業に対する補助です。



(財政的支援：花蜜柑)



(財政的支援：熊野街道ひなめぐり実行委員会)

(3) 取組の成果など

パートナーグループ登録数が前年度を大幅に上回るなど、地域の皆さんが地域づくりに自発的に取り組む機運も向上しつつあります。また、パートナーグループ「CORORO」のイベント“Fata festival”や「熊野宮川を守る会」の“ソーシャルレジャープロジェクト”、「ISOMON⁶」の“^{にしきとべ}丹敷戸畔の謎解明プロジェクト”など、自発的に複数のグループが連携した取組事例も出てきました。

(4) 今後の方針

「美し国おこし・三重」の取組終了後の姿を見据えつつ、引き続きプロデューサーの助言や専門家派遣、財政的支援など、パートナーグループごとにきめ細かな担い手支援を行っていきます。また、プロデュース業務を委託した県内中間支援組織と共同で拡大座談会を開催するなどにより、グループ同士の広域的なネットワークづくりなどの支援を、地域の実情に応じた形で進めていきます。

3 「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」の取組状況

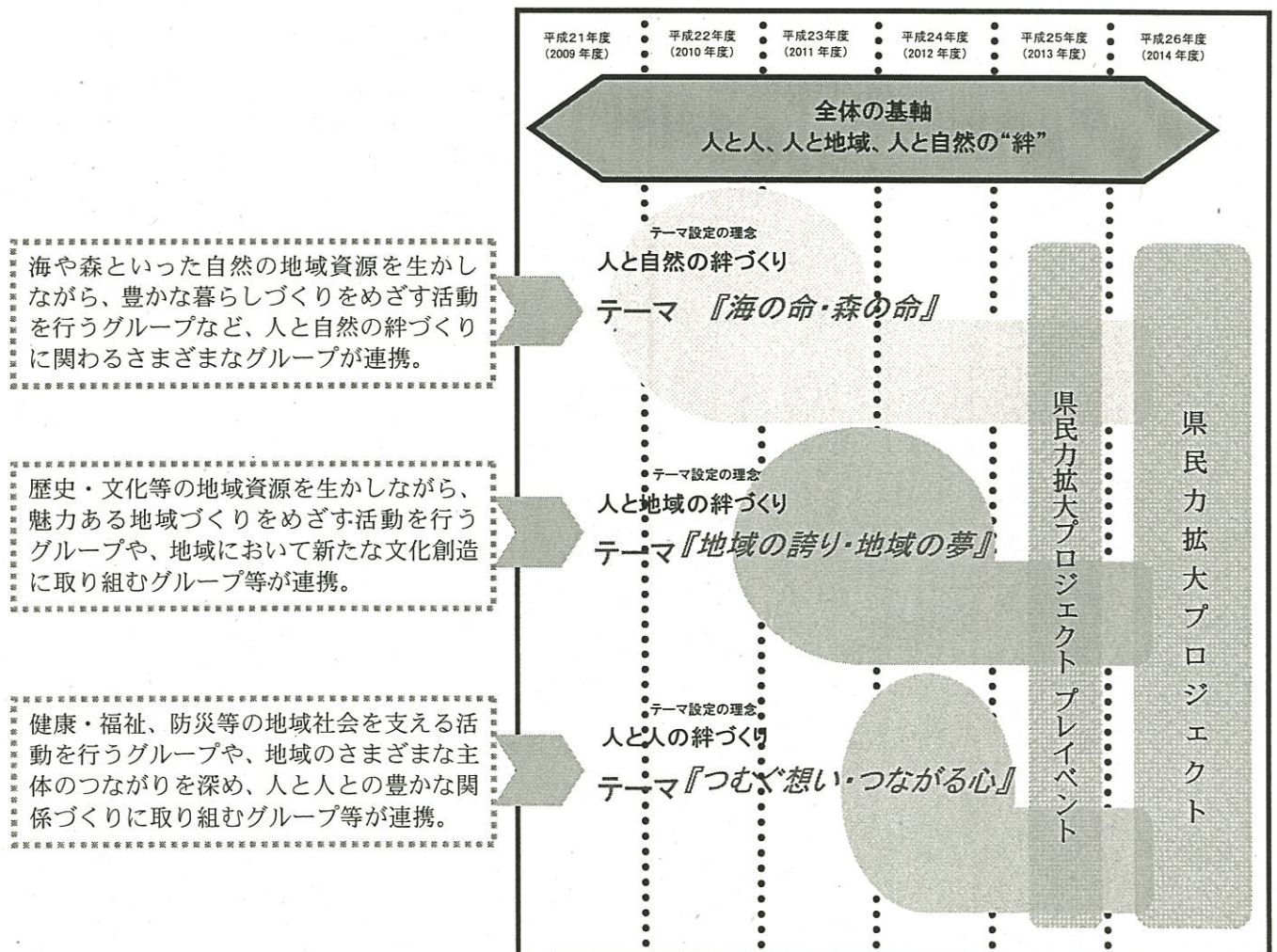
(1) 目的 (狙い)

県内各地域でパートナーグループが取り組んでいる活動を、平成 22 (2010) 年度から平成 26 (2014) 年度の 5 年間をかけて、共通する分野 (テーマ) ごとに連携し、全県的・広域的に進めていきます。

この取組により、さまざまな主体との協働の担い手であるパートナーグループの活動を全県的・広域的に分野 (テーマ) ごとにネットワーク化し、情報発信することで、それぞれの活動や地域の魅力の発見、地域経済の活性化、地域の担い手づくり、多様な誘客・交流の創出等を加速させ、「美し国 三重」をさらに元気にしていきます。

取組にあたっては、「美し国おこし・三重」基本構想の基本理念に掲げる「人と人、人と地域、人と自然の“絆”」を 5 年間の基軸に据えて、次の 3 つの理念によりテーマ設定をしています。

平成 22 (2010) 年度～平成 23 (2011) 年度は「人と自然の絆づくり」、平成 23 (2011) 年度～平成 24 (2012) 年度は「人と地域の絆づくり」、平成 24 (2012) 年度は「人と人の絆づくり」を理念にそれぞれにテーマを設定してテーマプロジェクトを展開してきました。そして、その集大成となる平成 25 年 (2013) 年の県民力拡大プロジェクトイベント、及び平成 26 (2014) 年の県民力拡大プロジェクトへとつなげていきます。



(2) 内容

平成 24 (2012) 年度は、昨年度に引き続き2年目となる「人と地域の絆づくり」を理念とした「地域の誇り・地域の夢」のテーマと、平成 24 (2012) 年度から新たに取り組んだ「人と人の絆づくり」を理念とした「つむぐ想い・つながる心」のテーマにより、次のテーマプロジェクトに取り組みました。

また、アサヒビール(株)様からの寄付金を活用して、平成 24 (2012) 年度に実施したテーマプロジェクトをPRするパンフレットを作成しました。

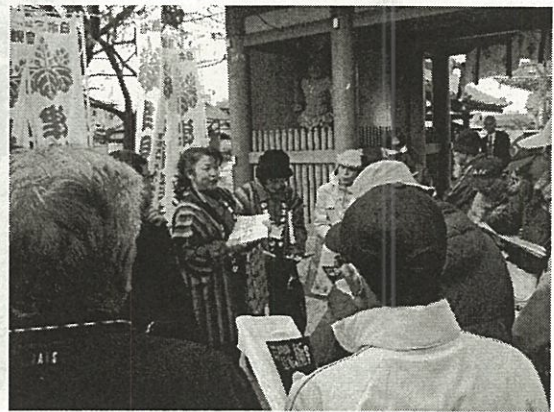
①テーマ「地域の誇り・地域の夢」

地域にまつわる歴史や逸話・謂われ等の「物語」を切り口とした地域資源の付加価値を高める「物語おこしプロジェクト」の企画・実施主体を公募し、5事業を県内各地で実施した他、パートナーグループが主催する10事業を共催事業として実施しました。

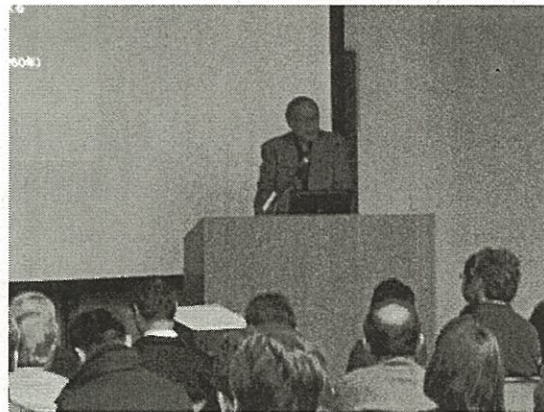
また、主催事業としてテーマに沿った講演会を開催しました。



(物語おこしプロジェクト)



(物語おこしプロジェクト)



(講演会)

②テーマ「つむぐ想い・つながる心」

誰もがお互いに支え合い、助け合える環境づくりを進めることをめざす「人と人の絆の場づくりプロジェクト」の企画・実施主体を公募し、5事業を県内各地で実施した他、パートナーグループが主催する10事業を共催事業として実施しました。

また、「人と人の絆の場づくり実践プロジェクト」として、「第21回全国ボランティアフェスティバルみえ」と「M祭! 2012」に参画しました。



(人と人の絆の場づくりプロジェクト)



(人と人の絆の場づくりプロジェクト)



(人と人の絆の場づくり実践プロジェクト)

(3) 取組の成果など

テーマプロジェクトに取り組むことで、パートナーグループの活動の活発化や連携、新たなプロジェクトへのきっかけづくりなど、「美し国おこし・三重」の取組が広がりました。

(4) 今後の方針

平成 26 (2014) 年度に実施する県民力拡大プロジェクトに向けて、平成 25 (2013) 年度には「プレ縁博みえ」を開催しますが、その中で、平成 22 (2010) 年度から実施してきた「人と自然」、「人と地域」、「人と人」の絆づくりを理念としたテーマプロジェクトの集大成として、「縁づくり」をキーワードとした「プレ縁博イベント」を全県的に展開します。

「プレ縁博みえ」については、ガイドブックの作成、PR 講演会など、さまざまな手法により情報発信を行っていきます。

4 情報発信の取組状況

(1) 目的 (狙い)

県民の皆さんに「美し国おこし・三重」がめざす姿や取組の概要を理解いただくとともに、本取組への参加・参画を促進するため、「地域での美し国おこし」(パートナーグループの活動など)や「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」の取組の紹介などの情報発信を行います。

(2) 内容

下記の広報手段を用いて、「美し国おこし・三重」の取組概要の周知や理解の促進を図るとともに、個々のパートナーグループの活動の認知促進に焦点をあてた情報発信を行いました。

また、テレビ、ラジオ、新聞等のマスコミの特性に応じた情報提供や取材依頼を行うとともに、県他部局、市町、企業等が主催するイベント等において、マスコットキャラクターや広報グッズを活用したPRに取り組みました。

①「美し国おこし・三重」情報誌「あむあむ」の発行

県内各地のパートナーグループの活動や「美し国おこし・三重」実行委員会が主催する拡大座談会等の事業をわかりやすく紹介し、地域づくり関係者や関心のある方に本取組を周知するとともに、県民の皆さんの参加・参画を促進するため、従来の「あむあむ」の判型及びデザインを一新し、発行・配布しました。

・第19号～第23号…各20,000部

②生活情報誌等への小冊子「きずなストーリーⅣ」の綴じ込み・配布

本取組を県民の皆さんに幅広く情報発信し、周知を図るとともに、地域づくり活動への参加・参画いただくためのきっかけとなるようパートナーグループの「人」に焦点をあてて紹介する小冊子「きずなストーリーⅣ」を作成しました。

この冊子については、生活情報誌に綴じ込む形で、三重県内の主要都市部(桑名市、四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市、伊勢市、伊賀市、名張市)の中心地域各戸(約463,600世帯)等に配布をしました。

③マスコットキャラクター「う～まちゃん」の活用

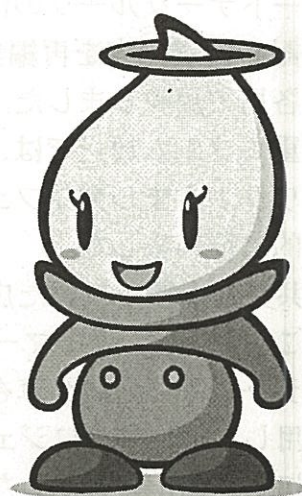
実行委員会で作成するパンフレットやチラシ、ホームページ等のWEBツール、電車やバスへの交通広告、名刺台紙などの広報ツール、啓発グッズにおいて、マスコットキャラクター「う～まちゃん」を活用しました。

さらに、県民の皆さんに本取組に親しみを持ってもらい、参加・参画していただけるように、「う～まちゃん」の着ぐるみを活用した広報活動を各種イベント等で実施するとともに、パートナーグループや企業・団体等が主催するイベント等に着ぐるみを貸し出し、併せて本取組のPRを依頼することで、一層の周知を図りました。

平成 24 (2012) 年度 「う～まちゃん」 着ぐるみ使用実績 (52 件)

1	忍者イガデハク@伊賀上野 (H24. 4. 28~4. 29)
2	包括連携協定締結記念 美味しさ、まる三重！うまいものフェア (H24. 6. 23~7. 8)
3	尾呂志夕涼み会 (H24. 7. 7)
4	きほく七夕物語 (H24. 7. 7)
5	夏の交通安全県民運動出発式 熊野市 (H24. 7. 10)
6	地物一番の日キャンペーン (H24. 7. 14)
7	第 2 2 回世界少年野球大会三重・奈良・和歌山大会 (H24. 7. 24)
8	御浜町社会福祉協議会「あいあい祭り」(H24. 8. 25)
9	子どもフェスタ 2012 (H24. 8. 25)
10	馬越峠夏まつり (H24. 8. 26)
11	吉田沙保里選手オリンピック 3 連覇達成記念の凱旋パレード及び県民・市民報告会 (H24. 8. 28)
12	三重県ゆるきゃらフェスティバル (H24. 8. 31~9. 2)
13	紀伊半島大水害復興イベント ～行ってみよら♪東紀州元気祭～ (H24. 9. 8)
14	Happy Share Party ! (H24. 9. 12)
15	昭和の縁日 (H24. 9. 16)
16	「秋の全国交通安全運動」熊野署出発式 (H24. 9. 20)
17	「秋の全国交通安全運動」尾鷲署出発式 (H24. 9. 21)
18	「美し国おこし・三重」四日市地域絆づくり大縁会 (H24. 9. 22)
19	第 1 回健康・地域づくりサミット in 志摩 (H24. 9. 28~9. 29)
20	三重うまいもんフェア (H24. 10. 12~10. 14)
21	みえ森林フェスタ 2012 伊勢二見 (H24. 10. 13)
22	福井と三重の農産物直売所交流フェア オープニングイベント (H24. 10. 20)
23	第 1 1 回 ひさい版仮装大笑 2012 (H24. 10. 21)
24	竹燈夜-TAKETOYA- キャンドルナイト&イルミネーション in 松阪 (H24. 10. 28)
25	御浜みかん祭り (H24. 11. 4)
26	ななわ地区ふれあい農業祭 (H24. 11. 4)
27	尾呂志学園文化祭 (H24. 11. 11)
28	～テーマプロジェクト「物語おこしプロジェクト」～ 第 1 3 回「三重ふるさとウォーク」(H24. 11. 11)
29	みえフードイノベーションプロジェクト商品発売セレモニー (H24. 11. 15)
30	神戸地区文化祭「ゆるキャラフェスタ in かんべ」(H24. 11. 18)
31	みえ いいもん・うまいもんフェア (H24. 11. 23~11. 24)
32	東北応援交流フェア！岩手と三重 美味しいもん市 (H24. 11. 30~12. 2)
33	第 1 回「紀北町植樹」(H24. 12. 8)
34	マ・チ・ナ・カ イルミネーション 2012 (H24. 12. 8)
35	紀の宝みなと市 (H24. 12. 11)
36	年末の交通安全県民運動出発式 紀北町 (H24. 12. 11)
37	年末の交通安全県民運動出発式 熊野市 (H24. 12. 11)
38	白い小箱三重キャラバン (H24. 12. 13)
39	紀の宝みなと市 (H24. 12. 15)
40	学生と大人のトークフェスタみえ！ (H24. 12. 22)
41	「三重紀北町年末きながしま港市」と「紀北町防災フェア」(H24. 12. 22)
42	JR 大阪三越伊勢丹三重フェア (H25. 1. 26~1. 27)
43	おいでよ！！餅つきまつり (H25. 1. 31)
44	首都圏（東京都立川市、新宿区、墨田区、千代田区）での観光 P R (H25. 2. 2~2. 11)
45	「東北応援交流フェア！岩手久慈の直産美味しいもん市」復興応援交流イベント (H25. 2. 3)
46	第 7 回 子育て応援！わくわくフェスタ (H25. 2. 16~2. 17)
47	三重県・紀伊半島物産展フェア (H25. 2. 23~2. 24)
48	平成 24 年度「美し国おこし・三重」成果発表交流会「ワクワク！うまし発見フェスタ ～みえの地域づくり大集合～」(H25. 3. 2)
49	愛知県（名古屋、瀬戸市）での観光 P R (H25. 3. 2)
50	熊野街道ひなめぐり オープニング (H25. 3. 3)

51	愛知県（一宮市）での観光PR（H25. 3. 10）
52	尾鷲ひのきの音色と香りのコンサート（H25. 3. 20）



マスコットキャラクター
う~まちゃん

④タグライン「みんなで動くと、こんなにすごい。」の作成・PR

「美し国おこし・三重」の取組のコンセプトをわかりやすく簡潔な言葉で、県民の皆さんに伝え、気軽に本取組に参加をしていただくため、タグライン「みんなで動くと、こんなにすごい。」を作成し、パンフレットやホームページ、啓発グッズ等に掲載し、PRに努めました。

みんなで動くと、
こんなにすごい。

⑤啓発グッズの作成

各種イベントや会合等の機会を通じて、本取組を県民の皆さんや市町、地域づくり関係者の皆さんに周知し、取組への関心を高めてもらうため、手提げ袋、クリアフォルダ、ボールペン、シャーペン、蛍光ペン、鉛筆、ポケットティッシュ、シール、ネックホルダー、手ぬぐい、エコ箸などの啓発グッズを作成し配布しました。

⑥「美し国おこし・三重」ホームページ・フェイスブックによる情報発信

ホームページでは、拡大座談会、テーマプロジェクト等の「美し国おこし・三重」実行委員会主催による行事の告知や開催結果のほか、個々のパートナーグループのイベント情報や、情報誌「あむあむ」を掲載するなど、本取組の最新情報を発信しました。

また、新たにフェイスブック・ページを開設（平成 24（2012）年 7 月）し、ホームページと連動した情報を掲載することで、幅広い層への情報発信を行いました。

⑦その他の広報

・県政だよりに毎回「美し国おこし・三重」のページを設け、本取組のトピックやニュースなどを県民の皆さんにお知らせしました。

- ・三重テレビ放送「県政チャンネル ～輝け！三重人～」(毎週金曜日)の「元気！暮らし！絆！県民のチカラ」(毎月第4週)のコーナーで「美し国おこし・三重」パートナーグループの活動取材し、放映しました。
- ・上記の放送内容を再編集した番組を制作し、三重テレビ及び県内のケーブルテレビ各局で放映しました。
- ・三重エフエム放送では、平成24年度「美し国おこし・三重」成果発表交流会「ワクワク！うまし発見フェスタ ～みえの地域づくり大集合～」などのお知らせを集中的に行いました。
- ・公共交通機関を用いた広報として、近畿日本鉄道(株)の電車車両2両に「美し国おこし・三重」ロゴマークやマスコットキャラクター「う～まちゃん」のデザインをラッピングした電車を運行し、話題を呼びました。また、このラッピング車両を活用し、テーマプロジェクトにおける「フォトコンテスト」の告知を図るため、車内にポスターを掲出したほか、コンテスト終了後には入賞作品を紹介するポスターの掲出を行いました。
- ・三重交通(株)の県内8営業所の路線バス71台に「美し国おこし・三重」タグラインを用いた広告看板を掲出しました。

(3) 取組の成果など

パートナーグループへのアンケートでは、本取組を知ったきっかけとして、「県・市町の広報紙」が9.8%、「実行委員会広報紙」が9.2%となっています。

同アンケートでは、「美し国おこし・三重」の広報支援については、81.1%のパートナーグループから、「満足」、「概ね満足」との回答をいただいています。

また、平成24(2012)年度に実施した「e-モニター」によるアンケート結果では、「美し国おこし・三重」を「よく知っている」と回答した人は5.5%、「少し知っている」と回答した人は41.8%となっており、今後もさまざまな媒体を活用した広報が必要と考えられます。

(4) 今後の方針

「美し国おこし・三重」の取組におけるパートナーグループの活動等を、情報誌、パンフレット、ホームページ等WEBツール等のほか、新聞・雑誌などの各種メディアや市町等のイベントを活用し、具体的にわかりやすく広報することで、県民の皆さんに本取組への参加・参画を促します。

特に平成26(2014)年度に本取組の最終年を迎えることから、「県民力拡大プロジェクトイベント」(平成25(2013)年度)及び「県民力拡大プロジェクト」(平成26(2014)年度)のPRに注力した広報を実施していきます。

5 目標と検証・評価の状況

本取組を第三者の視点を加えて検証・評価する評価委員会を平成 22 (2010) 年 6 月に設置しました。平成 24 (2012) 年度は会議を 3 回開催し、平成 24 (2012) 年度の本取組について、検証・評価しました。

平成 24 (2012) 年度の本取組における目標数値との対比は以下のとおりです。

本取組の基本となる座談会の開催数は目標値を大きく上回りました。パートナーグループの登録数は、目標値には届きませんでした。前年度比約 2.2 倍の 175 グループと過去最高を記録しました。また、パートナーグループの活動充実・満足度について、目標値は上回りましたが、昨年度 (平成 23 (2011) 年度) の値には及びませんでした。

【全体指標の目標値およびその結果】

①集客・交流者数

県民力拡大プロジェクト参加者数

平成 24 (2012) 年度	目標	(準備期間)
	実績	(準備期間)

②ネットワーク構築数

パートナーグループアンケートによる「パートナーグループが地域内外のさまざまなパートナーグループや団体との間に構築したネットワーク数」

平成 24 (2012) 年度	目標	600 グループ
	実績	<u>1,067 グループ</u>
平成 26 (2014) 年度	目標	延べ 3,000 グループ (累計)
		[平成 24 (2012) 年度まで <u>1,455 グループ (累計)</u>]

③地域への愛着度

三重県が実施する「e-モニター」による「地域への愛着度」

平成 24 (2012) 年度	目標	82%
	実績	<u>78.3%</u>

【個別の取組指標の目標値およびその結果】

①自発的な地域づくりグループへの支援

a パートナーグループとして登録されたグループ数

平成 24 (2012) 年度	目標	200 グループ
	実績	<u>175 グループ</u>
平成 26 (2014) 年度	目標	1,000 グループ (累計)
		[平成 24 (2012) 年度まで <u>513 グループ (累計)</u>]

b パートナーグループの活動充実・満足度

この取組に参画するパートナーグループの自己評価による活動充実・満足度

平成 24 (2012) 年度	目標	70%以上
	実績	<u>70.9%</u>

②自立性・持続性を高めるしくみづくり

自立・持続のしくみの構築数 (中間支援組織・機能)

平成 24 (2012) 年度	目標	5 件
	実績	<u>5 件</u>
平成 26 (2014) 年度	目標	30 件 (累計)
		[平成 24 (2012) 年度まで <u>14 件 (累計)</u>]

③新たなイベントスタイルによる地域力の結集と成果の情報発信

a 県民力拡大プロジェクト参加者数（再掲）

平成 24（2012）年度	目標	（準備期間）
	実績	<u>（準備期間）</u>

b 三重県が実施する「e－モニター」による「地域の活動などに参画している住民の割合

平成 24（2012）年度	目標	35%
	実績	<u>33.8%</u>

④その他の個別の取組指標と目標の設定

座談会等開催数

平成 24（2012）年度	目標	330 回
	実績	<u>715 回</u>

6 協賛・協力の状況

(1) 目的 (狙い)

「美し国おこし・三重」はさまざまな主体で推進していく取組であることから、住民の皆さんや団体・企業などの協賛や協力を呼びかけながら進めていきます。

(2) 内容

- ・24の企業や団体等に、パンフレットやチラシ、名刺等でのシンボルマークやマスコットキャラクター「う～まちゃん」を活用した取組の広報を行っていただきました。
- ・県が包括協定を結ぶ(株)セブン-イレブン・ジャパンと連携し、三重の食材を使用した商品開発と併せて、商品PR用ポスター、チラシ及び各商品のパッケージに、「美し国おこし・三重」マスコットキャラクター「う～まちゃん」を掲載いただき、本取組をPRしていただきました。
(商品例) ・美し国三重うまいもの弁当
・伊勢茶シュークリーム
・こだわり米の塩むすび あおさ佃煮 等
- ・熊野地域の地元企業(紀伊自動車学校、里創人熊野倶楽部等)及び複数のパートナーグループ等が連携し、平成23(2011)年9月の台風で被害を受けた熊野宮川や多くの流木やゴミが打ち上げられた七里御浜海岸での清掃活動や花壇整備などの社会貢献活動と熊野古道ウォーキング・まちあるきなどのレジャーを組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。
- ・企業や団体等から広く協賛を募集するにあたり、「『美し国おこし・三重』協賛取扱要領」等により、協賛・協力を進めました。

(3) 取組の成果など

シンボルマークやマスコットキャラクター「う～まちゃん」等を使った広報での協力は、年々増加しています。

「美し国おこし・三重」の取組の趣旨に賛同いただいたアサヒビール(株)様より金銭的な協賛をいただき、テーマプロジェクトパンフレットを作成しました。

一方で、広報以外の協賛・協力をさらに増やしていくことが課題です。

(4) 今後の方針

企業のCSR(企業の社会的責任)活動の取組と「美し国おこし・三重」の取組は、親和性が高く、連携できる部分が多いと考えられるため、三重県と「連携に関する包括提携協定」を締結した企業を中心に、三重県内でCSR活動に取り組む企業に積極的に働きかけを行い、協賛・協力、連携を図っていきます。

7 県庁内連携、市町連携の状況

【県庁内連携】

(1) 「美し国おこし・三重」推進本部員会議

①目的（狙い）

「美し国おこし・三重」推進本部員会議は、「美し国おこし・三重」の取組を推進するにあたり、各部局等が連携・協力し、一体となって取り組む必要があるため、副知事を正副本部長に各部局長等を構成員として、平成 19（2007）年 11 月に設置したものです。

②内容

平成 24（2012）年度は 2 回開催し、取組状況や各部局との連携および取組の推進、テーマプロジェクト、県民力拡大プロジェクト企画案などについて、説明・協議を行いました。

(2) 「美し国おこし・三重」推進本部幹事会

①目的（狙い）

各部局等の総務課長（設置時は総務室長）等を構成員とし、取組の具体的な検討などを行うために、平成 20（2008）年 2 月に設置したものです。

②内容

平成 24（2012）年度は 3 回開催し、取組状況や各部局等との連携事業、テーマプロジェクトの進め方、県民力拡大プロジェクト企画案などについて、説明・協議を行いました。

(3) 「美し国おこし・三重」地域支援本部会議

①目的（狙い）

県内全域で展開する「美し国おこし・三重」における地域での取組を円滑に進めるために、地域防災総合事務所長または地域活性化局長（設置時は県民センター所長）を本部長に関係地域機関長を構成員として、平成 21（2009）年 1 月から 3 月にかけて、各地域に設置したものです。

②内容

平成 24（2012）年度は延べ 41 回開催し、座談会の開催やパートナーグループの登録状況、各事務所間連携等について、説明・協議を行いました。

(4) 県庁内連携の取組成果など

①取組の成果など

- ・本取組の現状や実施計画の説明・協議を行うことで、各部局間、各地域事務所間で共通認識をもつことができました。
- ・地域支援本部員会議では、実行委員会事務局地域事務所と関連する地域機関との連携を図ることができました。

②今後の方針

推進本部員会議・推進本部幹事会において、県民力拡大プロジェクトに向け、各部局等との連携を一層推進していきます。

【市町連携】

(1) 市町訪問

①目的（狙い）

地域事務所職員等が市町を訪問し、意見交換を行うことで、連携を深めていきます。

②内容

日々の業務の中で、地域事務所職員等が市町職員と意見交換を行い、連携を深めています。

(2) 「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」等での報告

①目的（狙い）

市町の首長や市町の幹部職員が会する機会をとらえ、取組への理解や現状報告を行います。

②内容

市長会や町村会での説明や「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」等で状況報告等を行い、情報の共有化を図りました。

(3) 市町連携の取組成果など

①取組の成果など

市町の首長から担当者まで、広く取組の理解を求め、連携して取り組んだ結果、全市町で座談会が開催され、パートナーグループ登録数も飛躍的に増加するなど、「地域での美し国おこし」の取組を一層進展させることができました。

②今後の方針

地域事務所職員を中心に、引き続き、よりよい取組にしていくための意見交換を進めていきます。

8 評価委員会意見

評価委員会は、「美し国おこし・三重」実行委員会が行う取組について、第三者の視点から中立的な検証・評価を行うために設置したものです。

平成 25 (2013) 年 2 月 25 日 (月) に第 9 回会議、6 月 3 日 (月) に第 10 回会議を開催し、平成 24 (2012) 年度の取組に関していただいた評価委員長報告および意見、それに対する考え方は、次のとおりです。

(1) 平成 25 (2013) 年 3 月 12 日付け、評価委員会評価委員長報告

① 平成 24 年度「美し国おこし・三重」の検証、評価について

「美し国おこし・三重」の取組も約 4 年間が経過し、自発的に複数のグループ同士が連携した取組が実施されたり、座談会での話し合いを契機として地域資源を活用した商品開発が行われるなど、成果も表れてきており、また、平成 24 年度のパートナーグループ登録数は前年度実績を大幅に超えるなど、地域の皆さんが地域づくりに自発的に取り組む機運も向上してきているものと思われます。

しかし、この取組があと 2 年であるということをお案すると、この取組が終了した後も自立・持続可能で元気な地域づくりが各地で続けられるよう、県内の中間支援組織・機能を担うグループ・団体や地域のリーダー等との連携を図るとともに、県の関係部局との横断的な連携を一層密にし、市町の取組、思いを無視することなく、市町域を超えた広域的なグループ同士のネットワークづくりや情報発信の支援を、地域の実情に応じた形で一層進めていくことが大切です。

さらに、この取組が終了した後、地域に何を残すのか、何が残るのか、中間支援組織・機能にどこまで任せるのかなど、県の役割、市町の役割、中間支援組織・機能の役割を明確にするとともに、県としても NPO 施策担当課や地域づくり担当課との連携をしっかりと検討していくことが必要です。

今後、平成 26 年の県民力拡大プロジェクトやその前年のイベントを行うこととしていますが、一過性で終わらないように、事業構築においてはこれらのことを十分留意したものにされたい。

最後に、情報発信においては、「あむあむ」のリニューアルやフェイスブックの開設など、工夫が見られ PR 効果の高いものに改善されてきていますが、広報媒体間の連携を図るなど、誰に何を訴えかけるのかターゲットを定め、一層戦略的なものにする必要があると考えます。

② 平成 24 年度プロデュース業務の検証、評価について

県外在住プロデューサーなどのノウハウ、専門知識を本取組終了後も地域に残していくため、一部の地域についてプロデュース業務を県内の中間支援組織に委託していることや、当初からプロデュース業務を委託している有限会社 Landa Associates においても、県内在住者の比率を高めていることは評価できます。

しかし、この取組があと 2 年であるということをお案すると、この取組が終了した

後もグループの活動が自発的に続くためには、中間支援組織・機能を担うグループ・団体や地域のリーダー、企業等との連携をさらに進めていくことが必要です。

平成 25 年度の契約更新については、「美し国おこし・三重」の取組が終了した後の姿を見据えながら、

- プロデューサーにおいても、パートナーグループと中間支援組織・機能を担うグループ・団体や地域のリーダー、企業等とのネットワーク化をさらに進め、個々のパートナーグループに応じた活動の自立・持続に向けてのきめ細やかな支援をしっかりと行っていくこと。
- 総合プロデュース業務を担っている有限会社 Landa Associates においては、県内の中間支援組織等の機能の充実や連携の強化にも積極的に取り組むことを条件に、可とするものと考えます。

(2) 平成 25 (2013) 年 6 月開催の評価委員会における意見と対応方針

意 見	対 応 方 針
<p>パートナーグループ同士の自主的な連携が進むなど、成果は表れてきていると思うが、どの程度パートナーグループの活動が活性化されてきているのか。また、平成 26 年度以降、そういったパートナーグループの活動を三重県の資産として残していくには、現時点のパートナーグループごとの活動レベルを冷静な目で分析し、レベルに合った支援を行っていくべきであり、県として、パートナーグループの「自立」という指標を持って、平成 27 年度以降の支援体制を考える時期ではないか。</p>	<p>パートナーグループごとの目標・到達度は、プロデューサーがパートナーグループとの話合いの中で毎年目標を立て、それに対しての進捗を、プロデューサー、地域事務所職員、パートナーグループ等で対話し、それぞれのグループに応じた自立に向けての支援を行っているところです。</p> <p>また、「美し国おこし・三重」の取組終了後の県としての地域づくりの支援体制につきましては、地域づくり関係各課と調整しながら、市町との役割分担や県としての支援の必要性等を整理し、今後検討していきたいと考えています。</p>
<p>平成 26 年の県民力拡大プロジェクト（縁博みえ 2014・三重県民大縁会・第 32 回地域づくり団体全国研修交流会三重大会）は、一過性のイベントとしてはならない。</p>	<p>平成 26 年の県民力拡大プロジェクトでは、パートナーグループの活動の成果の披露を基本とし、地域の課題解決や新たな魅力の発信を通じて、「縁づくり」をキーワードとした集客交流イベントを全県的に展開していくこととしています。これを通じて、グループ間のネットワークの強化や中間支援機能の充実など地域の絆づくりを促進し、自立・持続可能で元気な地域づくりにつなげていきます。</p>

意 見	対 応 方 針
<p>中間支援組織について、「美し国おこし・三重」がしていたサポートをどこがどれだけ継続して担えるのか、体力測定も必要である。プロデューサーのノウハウの移管をあと1年かけてやっていきながら、移管先が無い場合、これから育てるのか新たに見出すのか、どういう形で地域につないでいくのか話し合っていくべきである。</p>	<p>中間支援組織については、「交流の場づくり」や「ネットワークづくり」などといった「美し国おこし・三重」が行っているサポート機能を担えるグループが、県内各地でパートナーグループの中から育ってきたり、現在、市民活動センターの業務などを受託しているグループなどが中間支援機能を担っていくことが望ましいと考えています。そういったことも狙いのひとつとして、平成24年度から地域の中間支援組織へのプロデュース業務の委託を行っているところです。今後は、さらに、県民力拡大プロジェクトを通じて、パートナーグループの活動の磨き上げを図るとともに、県内中間支援組織との連携を図っていきます。</p>
<p>福祉、環境、文化など大まかな分野ごとにグルーピングをして、その中で飛び抜けてリーダー格になれるようなグループがその役割を果たせるように今から準備していくことが大切である。そうすれば、「縁博みえ2014」などのイベントを通じて、つながりが生まれている、地域でリーダーができていて、という成果を見せることができる。そのようなところにはスポットライトを当ててやればよいのではないか。</p>	<p>平成24年度に実施してきたテーマプロジェクトの中で、パートナーグループが複数のグループを束ねて事業を展開するなどの事例も出てきています。平成25年度の県民力拡大プロジェクトイベントでは、「プレ縁博イベント」企画提案モデル事業において、とりまとめ・運営などの中心的な役割を担う地域づくりリーダーの擁立を要件とし、プロデューサーが助言等を行いながら展開していくことで、リーダーの育成や活動の継続につなげていきます。</p>